



BCJ 評定-ST0113-01

評 定 書

日鐵建材工業株式会社
小山 巖 様

財団法人 日本建築センター
理事長 立 石 真



平成17年2月18日付けで、評定申込みのあった下記の件について、当財団鋼構造評定委員会（委員長：田中淳夫）において慎重審議の結果、平成17年3月11日付け評定報告書（評定番号：BCJ 評定-ST0113-01）のとおり、本件は、申込みの範囲において、建築基準法令、その他の技術規準等及び当委員会で定めた基準に照らし、適正なものであると評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成22年3月10日までとします。

平成17年3月11日

記

件 名 デッキ合成スラブ（日鐵Eデッキフロア・EZ120）

評 定 内 容 標記工法の構造性能について



財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

評 定 報 告 書

日鐵建材工業株式会社

小山 巖 様

鋼 構 造 評 定 委 員 会

委員長 工学博士 田中淳夫



件 名：デッキ合成スラブ（日鐵Eデッキフロア・EZ120）

本件は、鋼板に立体的な加工を施したデッキプレートとコンクリートの合成スラブ構造において、当該構造が平成14年国土交通省告示第326号に定める「デッキプレート版」に適合し、構造的に問題のないことについて評定の申し込みがなされたものである。

本委員会は、下記について提出された資料に基づき技術的検討を行った結果、本件が申し込みの範囲において、建築基準法令、その他の技術規準等並びに本委員会で定めた基準に照らし、適正なものであると判断した。

平成17年3月11日

記

§ 1. 評定申込事項

1. 評定内容 標記工法の仕様について

1. 1) デッキプレートの種類

上下フランジにV溝とウェブに変形部を持つ断面形状のデッキプレートで、その形状寸法および断面性能は図1-1の通りである。

1. 2) デッキプレートの材質

建築基準法第37条に基づく平成12年建設省告示第1446号 別表第1（ろ）に掲げられる「JIS G3352（デッキプレート）：2003」の規格に適合するもの。

1. 3) デッキプレートの板厚

板厚は、1.0mm, 1.2mm, 1.6mmのものとする。

1. 4) デッキプレートの寸法許容差及び重量計算方法

「JIS G 3352 (デッキプレート) : 2003」に規定する8. 「形状、寸法及びその許容差」及び9. 「質量及びその許容差」による。

1. 5) デッキプレートの表面処理

めっきの付着量は、注文者との打ち合わせにより決定する。

1. 6) コンクリートの種類

「JASS5 鉄筋コンクリート工事」(日本建築学会)に規定された普通コンクリートまたは軽量コンクリート1種および2種とする。

1. 7) コンクリートの強度

設計基準強度は、18, 21, 24 N/mm² とする。

1. 8) コンクリートの厚さ

デッキプレート上面より5 cm以上10 cm以下とする。

1. 9) スラブの配筋

コンクリート上面に溶接金網または異形鉄筋を2 cm以上、3 cm以下で全面に配する。

溶接金網

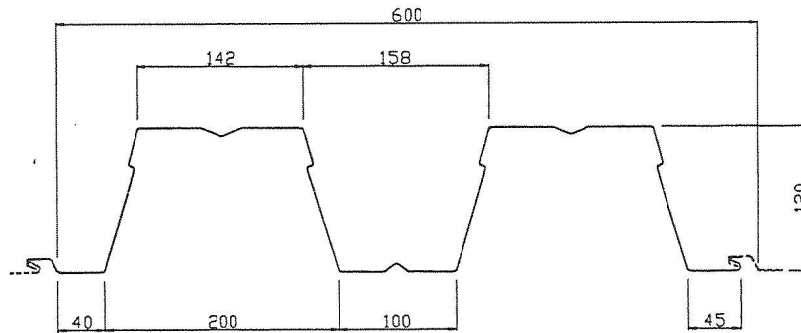
「JIS G 3551 (溶接金網)」に規定されたもののうち、線径6 mm、網目寸法150 mmまたは100 mmのものを使用する。

異形鉄筋

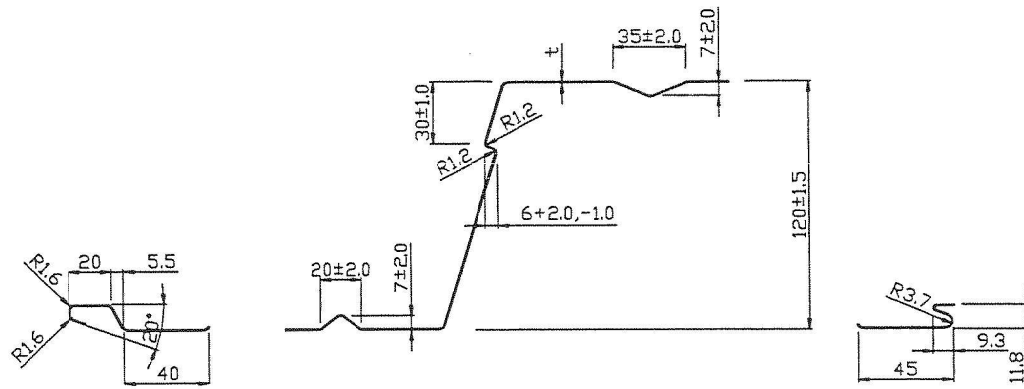
「JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼)」または「JIS G 3117 (鉄筋コンクリート用再生棒鋼)」に規定されたもののうち、SD295A, SD295BおよびSDR295で、D10以上を使用する。

图 1-1

EZ120



EZ120 詳細寸法



表示以外のコーナ一部の内 R は 2.0mm

デッキプレートの断面性能(1m幅当たり)

品名	板厚 (mm)	断面二次モーメント I (cm ⁴)	正曲げ用断面係数 Z _p (cm ³)	負曲げ用断面係数 Z _n (cm ³)
EZ120	1.0	376.0	57.8	57.8
	1.2	449.0	69.0	69.0
	1.6	592.0	91.1	91.1

§ 2. 評定内容

本構造は、§ 1. 1. 1) ～ 1. 5) に示す形状、材質を有する「日鐵Eデッキフロア・EZ120」を用いて、§ 1. 1. 6) ～ 1. 9) に示すコンクリートを打設して形成される合成スラブ構造である。本構造は、申込みの適用範囲を適切に考慮した許容応力度計算が行われている。また、本構造は、平成14年国土交通省告示第326号に定める「デッキプレート版」に適合したものである。

なお、本構造の合成効果は、正曲げ試験並びに負曲げ試験等を含む一連の構造実験で確認されており、問題のないことが確かめられている。

§ 3. 評定経過

平成17年2月18日に受付を行い、内容を検討した。委員会では、提出資料をもとに総括的な検討を行い、平成17年3月11日当報告を得た。

§ 4. 提出資料

1. デッキ合成スラブの仕様
2. デッキ合成スラブの設計法
3. デッキ合成スラブの断面性能表
4. デッキ合成スラブの許容積載荷重表
5. 合成スラブ用デッキプレート品質管理基準
6. 製造ラインの概要
7. 標準施工仕様
8. 指摘事項回答書



BCJ 評定-ST0113-02

評 定 書

日鐵住金建材株式会社
代表取締役社長 増田 規一郎 様

財団法人 日本建築センター
理事長 立 石 真



平成 21 年 12 月 18 日付けで、評定申込みのあった下記の件について、当財団鋼構造評定委員会（委員長：田淵基嗣）において慎重審議の結果、平成 17 年 3 月 11 日付け評定報告書（評定番号：BCJ 評定-ST0113-01）のとおり、本件は、申込みの範囲において、妥当なものであると評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成 27 年 3 月 10 日までとします。

平成 21 年 12 月 18 日

記

1. 件 名 デッキ合成スラブ（ニッテツ ハイパーデッキ）
2. 評定事項 標記工法の構造安全性について
3. 評定区分 更新
4. 変更内容 申込者の会社名、代表者名及び件名の変更
上記項目以外は既評定報告書（BCJ 評定-ST0113-01）のとおり。



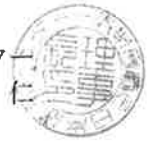


B C J 評定-ST0113-03

評 定 書

日鐵住金建材株式会社
代表取締役社長 小塚 修一郎 様

一般財団法人 日本建築センター
理事長 松 野 仁



平成 27 年 1 月 23 日付けで、評定申込みのあった下記の件について、当財団鋼構造評定委員会（委員長：田淵基嗣）において慎重審議の結果、平成 17 年 3 月 11 日付け評定報告書（評定番号：B C J 評定-ST0113-01）のとおり、本件は、申込みの範囲において、妥当なものであると評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成 32 年 3 月 10 日までとします。

平成 27 年 1 月 23 日

記

1. 件 名 デッキ合成スラブ（日鐵住金デッキプレート・ハイパーデッキ）
2. 評定事項 標記工法の構造安全性について
3. 評定区分 更新
4. 変更内容 申込者の代表者名及び件名の変更
上記項目以外は既評定報告書（B C J 評定-ST0113-01）のとおり。



一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan



BCJ 評定-ST0113-04

評 定 書

日鉄建材株式会社
代表取締役社長 中川 智章 様

一般財団法人 日本建築センター
理事長 橋 本 公 博



令和 2 年 2 月 21 日付けで、評定申込みのあった下記の件について、当財団鋼構造評定委員会（委員長：田淵基嗣）において慎重審議の結果、平成 17 年 3 月 11 日付け評定書（評定番号：BCJ 評定-ST0113-01）のとおり、本件は、申込みの範囲において、妥当なものであると評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より令和 7 年 3 月 10 日までとします。

令和 2 年 2 月 21 日

記

1. 件 名 デッキ合成スラブ（日鉄住金デッキプレート・ハイパーデッキ）
2. 評定事項 標記工法の構造安全性について
3. 評定区分 更 新
4. 変更内容 ・ 申込者会社名及び代表者名の変更
 ・ 全体構成の変更
 ・ 準拠する基規準を最新版に変更
 上記項目以外は既評定書（BCJ 評定-ST0113-01）のとおり。

5. 備考

本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。



一般財団法人 日本建築センター
The Building Center of Japan